

故郷ふれあい 子ども広場

8月12日（火）故郷ふれあい子ども広場を開催しました。

学童保育児童が講師の先生を招いて手づくりおもちゃを作り、作ったおもちゃで遊びやゲーム等を行う事業です。昨年に引き続いて講師には氷見市児童クラブ連盟の高澤正三先生を招きました。

2年生以上の子供たちにはすっかりお馴染みの高澤先生なので、皆大喜びで迎えました。昨年は能登半島地震の体験や自分の身を守ることなどの話で終始しましたが、今年はジャンケン勝ち抜きゲームを楽しみました。このゲームは5回連続して勝ち抜けるゲームですが、3回連続が最高でした。ゲームが終わるとお待ちかねの工作の時間です。最初に、高



澤先生が作った「お魚シューター」や「小鳥の紙笛」の作り方、遊び方や笛の音色をみんな真剣に聞きました。お魚シューターは傘袋と底をくり抜いた紙コップ2個を使い、傘袋は2個の紙コップで固定します。紙コップを頭にして鯉のぼりや思い思いの絵を書いて出来上がりです。小鳥の紙笛はさすがに難しかったらしく高澤先生や学童の支援員に調整してもらってようやく音が出るようになりました。出来上がったお魚シューターの飛ばし合いをしたり、笛の音色の聞き比べをしたり楽しい時間をすごしました。最後に、指導してもらった高澤先生にお礼を言って、おやつを食べて解散しました。

第19回 十三地区ペタンク大会

日時 令和7年9月25日（木）
 午前8時00分 受付開始
 8時30分 開会式
 予備日 9月26日（金）
 場所 氷見運動公園軽運動場
 少雨実施



9月の講座案内



講座名	曜日	実施日	時間	講師名
詩吟	月	1日・8日・22日・29日	13時30分～	大賀さよ子先生
手芸	火	2日・9日・16日・23日・30日	13時00分～	
詩吟	水	3日・10日・17日・24日	10時00分～	斉藤美紀子先生
三味線	木	11日・25日	19時30分～	山下茂昭先生
バランスボール	日	7日	10時30分～	浦野 司先生
オカリナ	金	12日・26日	10時30分～	尾崎春夫先生
3B体操	木	4日・11日・18日・25日	14時00分～	堀川絹代先生

十三地区の史跡・伝承

仏生寺地区

上原

かつて上原集落は神原カンバラと言い、今の集落南側の高台のマイケに散居していたという。神原社が鎮座、もと武士だった孫兵衛が支配していた。清水一族はショウズワタ・コシヨウズで、宮原一族はツバキハラで見張り（目的は不詳）を兼ね、農耕に従事していた。（ショウズワタに堀・馬場所という地名あり）

集落名の神原は恐れ多いということで上原カンバラと記したが、いつしか上原ウワハラと呼称し、現在に至っている。

後世、現在の地に集落を形成。神原は社細越の少名彦社に合祀されている。

仏生寺の神主平井家に宝暦六年（一七五六）の古文書がある。これは仏生寺村神主平井和泉守が関山城守に居宮・持宮・社号など、貞享二年（一六八五）の御見地の写しを報告したもので、神原社については

神原社 祭礼八月十八日 上原鎮座

社頭 九尺・二一尺

宮地 千六百歩余

とある。

宝暦六年（一七五六）には、神原社は上原に鎮座。合祀は明治末か。集落名は神原より上原に変わっている。